

平成30年度 学校目標

神奈川県立川崎北高等学校

	視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	①各教科・科目の学習到達目標を設定し、生徒学力調査等で定着度の検証を行う。 ②生徒の学習意欲や探究心を高める組織的な授業改善に取り組む。 ③学校行事を一層充実させ、生徒の主体的な行動の促進を図る。	②主体的・対話的で深い学びの実現に向け、ICT等を効果的に活用しながら授業改善を行い、生徒の学習意欲を向上させる。 ③生徒が自分たちの創意と工夫により、学校行事を活性化させていく過程を支援する。	②・各教科で、ICT利活用等による主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業の取組を学習単元毎に取り入れるとともに、その成果を研究授業等で発表し校内で共有する。 ・家庭学習の習慣の定着をすすめる。 ③教員の指示・指導に基づくのではなく、生徒の委員や希望者等によって学校行事が主体的に運営されていくように関係職員が支援を行う。	②・生徒による授業評価の項目7「私は、授業でわからないところがあったら、先生や友達に聞いたり、自分で調べたりするなどして分かるようとする努力をしている。」における4の評価(「かなり当てはまる」)回答率が前年度数値(1回目:31.5%、2回目35.3%)より高くなったか。 ・学校生活アンケートにおいて、家庭学習時間の増加がみられたか。 ③行事後のふりかえりで、主体的な取組に対してどの程度の肯定的評価が得られたか。
2	生徒指導・支援	①安全・安心な学校生活に向けた生活習慣の定着を図る。 ②部活動や生徒会活動等を一層充実させ、生徒の主体的な行動の促進を図るとともに、加入率の向上を図る。	①学校生活におけるルールやマナーを向上させるとともに、いじめのない安全・安心な学校づくりをすすめる。 ②部活動への参加を促し、加入率70%以上をめざすとともに部活動の適切な運営を図る。	①朝の8:30登校が日常化するように、生徒主体による全校・学年でのキャンペーンを行う。 ②部活動加入率の向上および部活動定着に向けた取組をすすめる。また、質の高い技術指導を提供し、大会等での成果の向上をはかる。	①遅刻者数の統計が対前年度比で減少したか。「遅刻者0」の日数が増加したか。 ②各部活動において、前年度以上の活動の成果を収めることができたか。また、部活動加入率は70%を超えたか。
3	進路指導・支援	1年次からの計画的なキャリア教育を進めることで、生徒一人ひとりがより高い意欲を持ち、進路実現をめざすように指導・支援を充実させる。	①面談や進路ガイダンスなどをおし、進路意識の向上を促し、進路実現に向けて生徒一人ひとりの努力を支援する。 ②「総合的な学習の時間」を中心に、コミュニケーション力の一層の向上を支援する。	①・各種のキャリアガイダンスで、質の高い情報を提供する。 ・進路実現に向けた生徒一人ひとりの取組を支援する。 ②「総合的な学習の時間」の中で、グループワークや合唱等の取組を通してコミュニケーション能力の向上を支援する。	①生徒へのアンケートで、進路ガイダンスなどが、進路意識の向上につながったという回答が増加したか。 ・生徒の進路希望どおりの進路結果が得られたか。 ②「総合的な学習の時間」の生徒の振り返りの中で、コミュニケーション能力が向上したという回答が増加したか。
4	地域等との協働	地域との様々な協働を推進し、地域唯一の高等学校として、共に発展する学校づくりを進める。	コミュニティ・スクールの運営を通して、地域と協働した活動や、ボランティア等への参加者を増加させ、地域からの信頼度を向上させる。	地元自治体、町内会、学校等の行事に参加する生徒数が前年度よりも増加するよう、情報発信や取りまとめの方法を工夫する。参加者に対して、効果測定を行う。	地域の諸行事の参加者数が対前年度比で増加したか。また、事後の効果測定で、肯定的回答数が向上したか。
5	学校管理 学校運営	安全・安心な教育環境の整備と教育活動の充実・改善に努め、事故のない、信頼される学校づくりを進める。	安全・安心な教育環境の整備と教育活動の充実・改善に努め、事故のない信頼される学校づくりを進める。	①快適な学習環境維持のための清掃活動を徹底し、ごみの減量及び分別を徹底する。 ②地域との合同による防災訓練を実施し、「避難所初動対応マニュアル」の作成を通して、地域防災体制の整備を行う。	①清掃活動が活発に行われ、生徒の意識の向上があったか。排出するごみが対前年度比で減少したか。 ②地域との合同訓練や初動マニュアルの周知等により、生徒に地域防災に関わる事の意義を理解させられたか。